

IBM Hyperconverged Systems powered by Nutanix

高性能なエンタープライズ・インフラストラクチャーとプライベート・クラウド・プラットフォーム

ハイライト

- フルスタックのインフラストラクチャーとプラットフォーム・サービス
 - パブリック・クラウドのようなシンプルなワンクリック操作による自動化された運用管理
 - インフラストラクチャー・ニーズの増大に合わせて柔軟な拡張が可能
 - データと高性能ワークロードのために、新たに誕生したハイパーコンバージド・プラットフォーム
-

基幹業務ワークロードのためのインフラストラクチャーに、パブリック・クラウドのような俊敏性とシンプルさデータセンターで提供。これこそが、導入いただいですぐに IBM® Hyperconverged Systems powered by Nutanix が提供するものです。1U と 2U の筐体で提供される POWER プロセッサ搭載のアプライアンスは、ワンクリック操作による容易な運用管理を可能とする Nutanix Enterprise Cloud Platform のシンプルさと、IBM Power Systems が提供する優れたパフォーマンスを結合するハイパーコンバージド・ソリューションです。ご存じの通り、Nutanix はハイパーコンバージド・プライベート・クラウドの分野において、テクノロジーと市場シェアの双方でリーダーシップを確立しています。

ハイパーコンバージェンスは、コンピュータ、ストレージ、ストレージ・ネットワーキング、仮想化のリソースやその他のテクノロジーをスケールアウト型サーバーに緊密に統合して、ソフトウェア中心のアーキテクチャーとともに提供されるタイプのインフラストラクチャー・システムです。ノードと呼ばれる個々のサーバーは、Nutanix のソフトウェア・スタックのスケールアウト・トポロジーによって管理されてクラスター化されます。各ノードが搭載する物理ストレージは、1 つの大規模な仮想化分散ファイル・システムにプール化されます。コンピューティング能力やストレージ容量を増強するためのノードの追加は、1クリックで簡単に行えます。

IBM WebSphere Application Server (WAS)、NGINIX、IBM BigInsights/Hadoop のほか、Enterprise DB(EDB) Postgres や MongoDB などの NoSQL/オープン・ソース・データベース (OSDB) のスケールアウト型 Linux ワークロードは、IBM Hyperconverged Systems powered by Nutanix に適しています。IBM のお客様は、Nutanix で標準のハイパーバイザーである AcropolisHypervisor(AHV) を使用して多様な仮想化 Linux アプリケーションを自由に実行できます。

IBM をお勧めする理由

IBM Hyperconverged Systems powered by Nutanix は、Nutanix Enterprise Cloud Platform を IBM Power Systems と結合しています。IBM Hyperconverged Systems powered by Nutanix は、管理と拡張が容易なインフラストラクチャーを使用し、要求の厳しいトランザクション・ワークロードやコグニティブ・ワークロード、アナリティクス・ワークロードをターゲットとしています。IBM Power Systems¹ は、x86 プロセッサ・ベース² のサーバーよりも平均で 80% 高い 1 ドル当たりのパフォーマンスを発揮します。ビジネスを変革するために、既存のインフラストラクチャーを新しいものに取り替える必要はありません。データ集約型ワークロードを実行するために生まれたサーバーにワークロードを配置するだけですむのです。



	1N1U プラットフォーム	1N2U プラットフォーム
		
ワークロード	高密度仮想化/ミドルウェア・アプリケーション: WAS Liberty、テストと開発、プライベート・クラウド	高性能ワークロード: EDB、MongoDB、WAS、ビジネス・アプリケーション、DataBase as a Service(DBaaS)
IBM モデル	CS821	CS822
基本プラットフォーム	S821LC	S822LC
サーバー・コンピュータ	コア当たり 8 スレッド、2 個の 10 コア 2.09 GHz POWER8 プロセッサ	コア当たり 8 スレッド、2 個の 11 コア 2.89 GHz POWER8 プロセッサ
メモリー	16 枚の Double Data Rate(DDR)4 Dual Inline Memory Module(DIMM) を使用してシステム当たり 128 GB または 256 GB、合計 64 MB の L4 キャッシュ	16枚の DDR4 DIMM を使用してシステム当たり 256 GB または 512 GB、合計 64 MB の L4 キャッシュ
ネットワーク接続	4 ポート 10 G BaseT イーサネット アドオン: Intel X710 チップ・セット/ドライバーをベースとする PCI Express(PCIe)3.0(Gen3) 2 ポート 10 GbE Small Form-factor Pluggable+(SFP+) アダプター	4 ポート 10 G BaseT イーサネット アドオン: Intel X710 チップ・セット/ドライバーをベースとする PCIe3.0 2 ポート 10 GbE SFP+ アダプター
最小合計イーサネット・ポート数	8	8
ブート・デバイス	64 GB Serial ATA Disk On Module(SATADOM)×1	64 GB SATADOM×1
SAS コントローラー	LSI 3008L をベースとする PCI Express 3.0(Gen3) SAS コントローラー	LSI 3008L をベースとする PCI Express 3.0(Gen3) SAS コントローラー
ストレージ	Samsung SM863a (480 GB、960 GB、1.92 TB) – オールフラッシュ構成	Samsung SM863a (480 GB、960 GB、1.92 TB) – オールフラッシュ構成
ドライブ・タイプ	2.5型 SSD×4	2.5型 SSD×8
ハイパーバイザー	Nutanix AHV	
ソフトウェア・ライセンス・オプション	Acropolis Pro または Ultimate License Prism Starter (Prism Central を含む)	
ソフトウェア・メンテナンス およびサポート	3 年間または 5 年間のソフトウェア・メンテナンスおよびサポート	
保証サービス	1 日当たり 9 時間、月曜日から金曜日 (祝日を除く)、翌営業日対応*、交換部品の送付	
エネルギー消費効率[※]	掲載対象外	

* エネルギー消費効率とは、エネルギーの使用の合理化に関する法律(昭和54年法律第49号、以下「省エネルギー法」という)で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネルギー法で定める複合理論性能で除したものです。ただし、複合理論性能が200,000MTOPS以上のものについては省エネルギー法対象外装置であり、掲載のエネルギー消費効率は参考値となります。

「ついに、シンプルさにパフォーマンスが
加わりました」

Nutanix をお勧めする理由

お客様がハイパーコンバージド・インフラストラクチャー (HCI) ソリューションを採用しているのは、データセンターにおける運用を大幅に簡素化するほか、大半のユース・ケースで設備投資の削減を実現できるからです。HCI は、IT の俊敏性を向上させ、リソースの展開とプロビジョニングに対して運用部門がパブリック・クラウドのようなアプローチを取れるようにします。ストレージ、サーバー、ソフトウェアのコンポーネントを別々に構築して管理するのではなく、Nutanix Prism という一元化された「単一画面区画」の管理ツールによってすべてが管理されるため、クラウド駆動型インフラストラクチャーを構築して運用する際に特殊な IT のスキルの必要性もなくなります。

詳細情報

IBM と Nutanix のハイパーコンバージド・エンタープライズ・クラウド・プラットフォームの詳細については、日本 IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。

ibm.com/jp-ja/marketplace/hyperconverged-systems



© Copyright IBM Corporation 2017

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan
May 2017

IBM, IBM ロゴ, ibm.com, BigInsight, Power, POWER, Power Systems および WebSphere は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Intel は Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本資料の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。

本資料の掲載情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

* 保証サービス・レベルは、場所によって異なります。詳細については、日本 IBM 営業担当員にお問い合わせください。

¹ CS821 は Power S821LC、CS822 は Power S822LC をベースとしています。CS821 や CS822 の実際のパフォーマンスと価格対性能比は異なる可能性があります。

² 80% という価格対性能比の優位性は、MongoDB、EnterpriseDB、MariaDB などの複数の OSDB で Power System S822LC for Big Data を同等の x86 E5-2600v4 (Broadwell) 2 ソケット・オフアリングと比較して IBM 社内で測定した平均値に基づきます。比較では、2016 年 8 月 24 日時点での料金設定を使用しています。詳細については、<https://www.ibm.com/developerworks/linux/perfcol/index.html> をご覧ください。



Please Recycle
